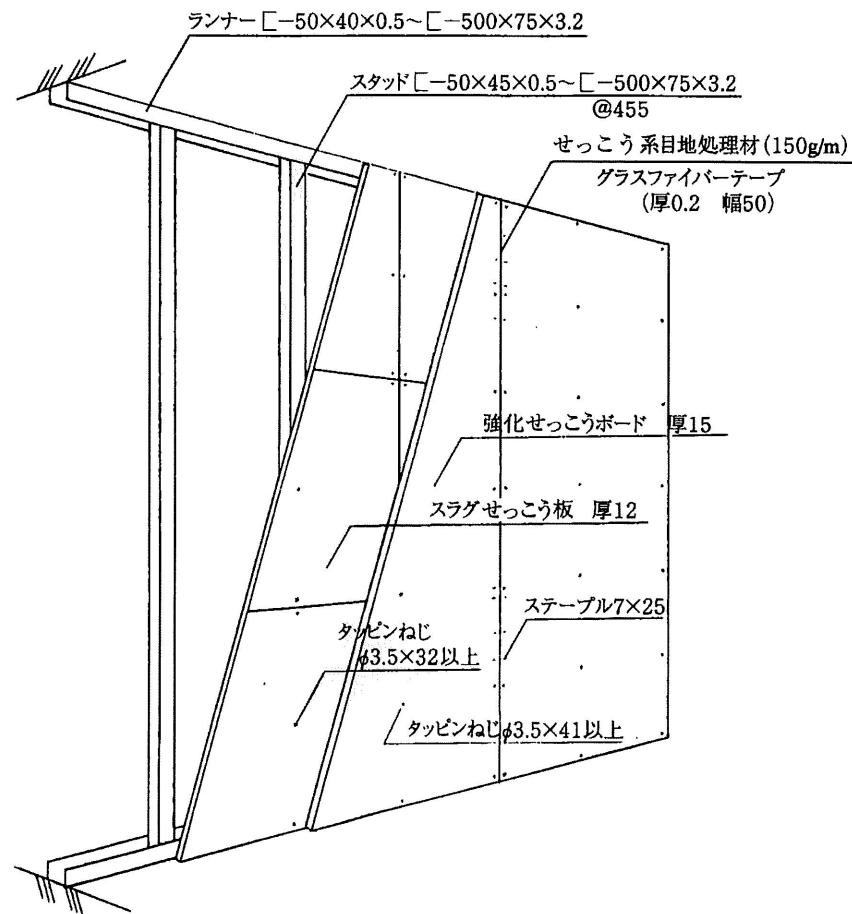


FP060NP-9051

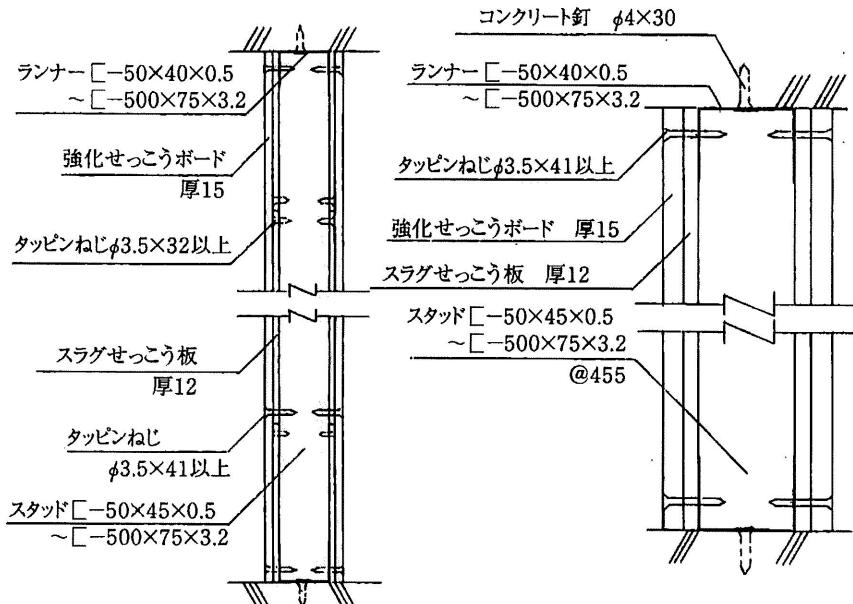
・認定した構造内容又は建築材料の内容（寸法単位：mm）

1. 部分、耐火性能の区分 間仕切壁 2時間耐火
2. 試験機関名 (財)ベターリビング 受託番号 試験依頼第961130号
3. 構造説明図（単位 mm）

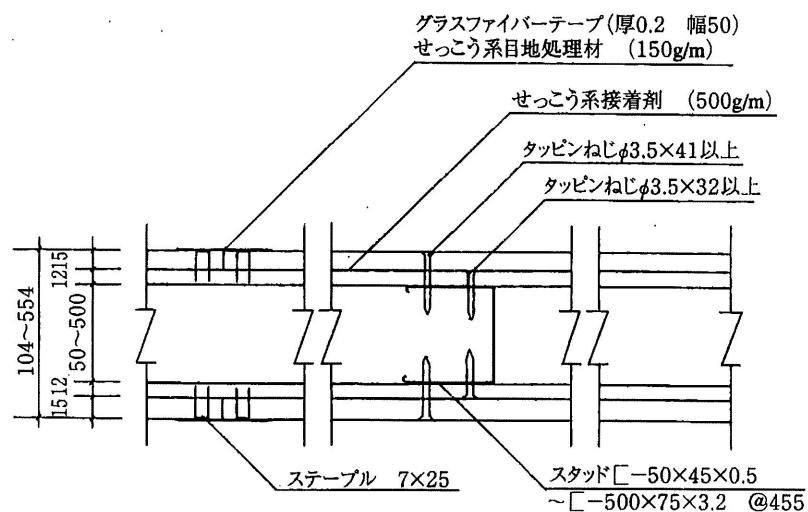
透視図



鉛直断面図



水平断面図



4. 材料等説明

1) 主構成材料

① 表面材（上張材）

強化せっこうボード

規格 不燃第1008号

JIS A 6901

寸法 厚さ 15.0 ± 0.5 mm、 18.0 ± 0.5 mm、 21.0 ± 0.5 mm

幅 $606 \sim 1,210$ +0、-3mm

長さ $1,820 \sim 4,500$ +0、-3mm

[最大 $1,210 \times 4,500$ mm +0、-3]

性能 含水率 3.0%以下

比重 0.70以上

② 下張材

スラグせっこう板

規格 不燃第1030号 2種 JIS A 5430

組成 (%) 二水せっこう 41 スラグ 41 耐アルカリガラス繊維 5
パーライト 5 パルプ 5 石灰 3

寸法 厚さ 12.0 ± 0.5 mm

幅 $910 \sim 1,210$ +0、-3mm

長さ $1,820 \sim 2,730$ +0、-3mm

[最大 $1,210 \times 2,730$ mm +0、-3]

性能 比重：a) 1.0 ± 0.1 b) 1.3 ± 0.2

曲げ強度： 10.5N/mm^2 以上

含水率：15%以下

③ 骨組構成材料

上下ランナー JIS G 3302、JIS A 6517 [-50×40×0.5~ [-500×75×3.2mm

間柱 JIS G 3302、JIS A 6517 [-50×45×0.5~ [-500×75×3.2mm

2) 副構成材料

① ランナー固定用金物 コンクリート釘 $\phi 4 \times 30$ mm同等以上のもの

打ち込み鉄 $\phi 3.2 \times 19$ mm同等以上のもの

② ボード取付け用金物

タッピンねじ JIS B 1122又は1125 $\phi 3.5 \times 32$ mm以上（亜鉛メッキ処理）

ステークル 7×25 mm以上

③ 目地処理材

グラスファイバーテープ 厚さ $0.2 \times$ 幅 50 mm

パテ材（せっこう系、アクリル樹脂系、酢酸ビニル樹脂系等） 150g/m

④ 接着剤 せっこう系、アクリル樹脂系、酢酸ビニル樹脂系接着剤 500g/m^2 （片面）

⑤ 隙間充填材 ロックウール（JIS A 9504 厚さ 25 mm、密度 38kg/m^3 以上）

又は不燃材同等以上

5. 標準仕様（施工仕様）

① 墨出し及び上下ランナーの取り付け

間仕切りを設置する所定の位置の天井及び床面に芯墨を出す。芯墨に合わせて上下のランナーをランナーア固定用金物を用いて $1,000$ mm以内のピッチで取り付ける。

② 間柱の取り付け

間柱を455mm以下のピッチでランナーに取り付ける。

③ 片側下張り用スラグせっこう板（以下、下張りボードという）の取り付け

下張りボードは横張りを標準とし、留め付けは $\phi 3.5 \times 32\text{mm}$ 以上のタッピンねじにて、455mm以下の間隔で間柱に留め付ける。下張りボードの突きつけ部は隙間の無いようにする。

④ 反対側下張りボードの取り付け

③の下張りボードと同様に取り付ける。

⑤ 上張り用強化せっこうボード（以下、上張りボードという）の取り付け

上張りボードは縦張りを標準とし、留め付けはせっこう系等の接着剤（100mm程度の幅で格子状に塗布する。塗布量500g/m²ピッチ455mm程度）とステープル（長さ25mm以上、ピッチ150～300mm以下）、又は $\phi 3.5 \times 41\text{mm}$ 以上のタッピンねじ（ピッチ455mm以下）にて下張りボードに留め付ける。

上張りボードの目地部は隙間の無いようにし、下張りボード目地と重ならないようにする。

⑥ ロックウール等の充填

遮音性を向上させる場合は、ロックウール等の不燃材を充填する。

⑦ 目地処理

仕上げ面は目地処理用パテにより目地処理を行う。必要に応じてジョイントコンパウンド、テープを用いて表面仕上げを行う。

⑧ 表面仕上げ

防火上支障のない材料にて表面仕上げを行う。

6. 留意事項

1) 保管に関する事項

保管の際は、水、湿気を避け平らな所に積み重ねる。

2) 運搬に関する事項

持ち運ぶ際は、面を垂直に持ち、特に角部に衝撃を与えたる、面に傷を付けないよう注意し、乱暴な取り扱いを避ける。

7. 付帯条件 なし